

フローバル(7132)

原材料価格高騰や円安基調などコスト増要因に対し、
自社オリジナル商品の開発・マーケティング強化で成長
TOKYO PRO Market | 金属製品・金物 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7132:JP | REUTERS 7132.T

- 2022/3通期は売上高が前期比16.3%増、営業利益が同6.7%増。巣ごもり需要が追い風となり、卸売販売事業と小売販売事業が拡大した。
- 世界的な部資材の原材料価格高騰を受けて粗利益率悪化も、売上高販管費率が改善。一時的要因の特別利益で最終増益率が拡大した。
- 原材料価格高騰や円安基調等コスト増要因があるものの、自社オリジナル商品の開発・マーケティング強化で成長持続が期待される。

What is the news?

5/13発表の2022/3通期は、売上高が前期比16.3%増の53.92億円、営業利益が同6.7%増の1.63億円、経常利益が同3.9%増の1.85億円、当期利益が同63.9%増の2.54億円。巣ごもり需要によりホームセンター業界が活況だったことを受けてホームセンター向け販売が堅調に推移したほか「配管部品.com」等のネット通販がコロナ禍の巣ごもり需要を反映。また、ショップ販売の直営プロショップ「設備マート」も堅調だったことも増収に寄与した。利益面では、世界的な部資材の原材料価格高騰を受けて粗利益率が同3.0ポイント低下の30.8%に悪化したものの、売上高販管費率が同2.7ポイント低下の27.8%に改善したことが増益に寄与した。固定資産売却益や関係会社清算益の一時的要因で最終増益率が拡大した。

セグメント別の売上高は以下の通り。①主に専門商社やホームセンター・ネット通販会社向けの卸売販売事業は、売上高が前期比15.6%増の39.92億円。②自社でのネット通販、ショップ販売、住宅機器販売を含む小売販売事業は、同23.3%増の11.67億円。③Eコマースサイト「GlobalMRO.com」を運営する韓国法人、および英国製ホースバンドの中国正規代理店である中国法人が展開する海外販売事業は、同1.5%減の2.32億円。取扱商品の拡充を図るとともに新規顧客開拓を推進した。

How do we view this?

2023/3通期会社計画は、売上高が前期比9.1%増の58.81億円、営業利益が同26.6%減の1.20億円、経常利益が同25.8%減の1.37億円。国内の製造業および建設業の回復傾向により売上高は概ね堅調に推移すると見込む。利益面では、前期に課税売上割合に準じる割合の適用承認申請書が承認されたことにより租税公課等の経費が販管費から削減された特殊要因が含まれている。その影響を除けば営業利益および経常利益ともに概ね前期比横ばいと考えられる。

前期に、機器・工具・用品ブランド「プロスタイルツール」および住設機器ブランド「リホマ」で新商品を上市。更に、デザイン性を重視した水まわり設備機器の「mizu no hana (水の花)」の浸透を図り、EコマースやSNS等発信に注力するなど自社オリジナル商品の開発を推進。世界的な原材料価格の高騰や部資材の供給不足、為替相場の円安基調などマイナス要因はあるものの商品開発力を武器に成長の持続が期待される。

業績推移

事業年度	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3F
売上高(百万円)	4,983	4,636	5,392	5,881
経常利益(百万円)	231	178	185	137
当期利益(百万円)	147	155	254	88
EPS(円)	321.09	337.91	556.23	192.27
PER(倍)	4.36	4.14	2.52	7.28
BPS(円)	3,779.07	4,110.54	4,631.58	-
PBR(倍)	0.37	0.34	0.30	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 4,000 2022/7/5(基準値)

会社概要

1910年に岡田専一氏が大阪市水道事業で使われる大型鑄鉄製バルブの部品を製造する鑄造工場として創業。立ち上げた。2021年12月16日にTOKYO PRO Marketに新規上場を果たした。

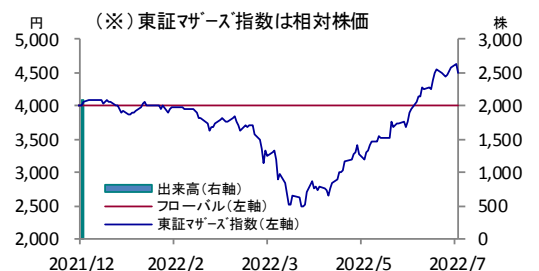
同社の取扱商品の内、競合差別化を図っているのは以下の2つのカテゴリである。

①自社商品である「プライベート・ブランド(PB)商品」は、パイプ・継手・バルブ等の配管商品である「FLOBAL(フローバル)」、コンプレッサー・エアホース・ポンプ等の機械器具である「PROSTYLE TOOL(プロスタイルツール)」、住宅の水まわり設備機器の「REHOMA(リホマ)」、デザイン性を重視した洗面等の水まわり設備機器の「mizunohana(水の花)」の4ブランドを擁する。

②同社が国内販売代理権を有する海外メーカー品の「エクスクルーシブ(Exclusive)商品」は、英・独製「ホースバンド」があり、国内建設メーカーや各種産業機械メーカーに多数の採用実績を持つ。

同社の販売事業は、①主に専門商社やホームセンター・ネット通販会社向けの「卸売販売事業」、②ネット通販事業、ショップ販売事業、住宅機器販売事業を含む「小売販売事業」、③Eコマースサイト「GlobalMRO.com」を運営する韓国法人、および英国製ホースバンドの中国正規代理店である中国法人による「海外販売事業」から構成される。

企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主 (2022/6/30)	(%)
1. 岡田 吉高	53.61
2. 岡田産業株式会社	35.57
3. 岡田 令奈	5.46
4. フローバル従業員持株会	4.36

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。